

夢幻夜伽詔



成年向



諸注意

以下の成分を含みます

・MUGEN

・東方

・工口

・独自設定

また、今回の話は

以前にうpした

『先代巫女と黒魅霊の薄い本』

id=23847323

の二次創作となります

もし宜しければそちらもどうぞ



別世界からの侵入者
戦闘に特化した黒衣の女

元の世界へ
突っ返すのが難しいから
あの娘に手伝って貰ったのは
いいんだけど



ある程度相手の位相を
ズラして
さあ隙間を開いて
送り返そうという場面で

まだ決着付けて
無いでしょうがッ！
邪魔すんなアアアア！

止められました

痛い

その後結局
勝敗は決まらず
あの娘からも
「余計な事をするな」
と釘を刺される始末

向こうも
勝手にライバル認定でも
したのか
時折神社に現れては
勝負をふっかけて
お互いにポロポロに
なるまで殴り合い

しばらく観察に徹した所
「殴り合い」をした場合のみ
境界に歪が発生するらしい

つまり戦闘行為さえ
控えさせれば必然的に
解決するまでの時間を
稼ぐことが

何!? 紫!?
忙しいから
後でね!

この有様である

こうなつては仕方ない
「殴り合い以外で
勝負をさせてみよう」
と考えてみた

その結果——

お前ら
人の話聞けよ!

キレた



紫……
確かに殴り合い以外での
勝負でも構わないとは
言ったわ

紫にしては珍しく建設的な
提案だなあ
なんて感心したんだけど

あはは
そんな風に
考えた私が
本当に馬鹿だったわ



ちなみに判定は
この男の子を使って
行います

っ!?!
えっと自分は一体
何をすれば…?



ああああの
自分はいきなり
連れてこられただけで
ななな何が何やら

脳味噌湧いてんのか!
ふざけんな!

あら?
実に平和的な
勝負方法だと
思うけど

夜伽勝負って
どういう発想よ!

ゴルアッ!!



只々拳を打ち合って
勝敗を決めるだけで
いいのかしら？

女性として
生まれたからには
女性として
勝たなければ

それにこの勝負なら
種族としての差を
殆ど考慮せずに
対等に渡り合えるでしょう？

そして黒服の貴方
「勝負事であれば
挑まれたら断れない」
みたいねえ



そうか

ところで
紫の好きな臓器って何？

え？
何この砕く流れ

私今かつこいい
セリフ言ったよね

肝臓ぶっ壊して
酒飲めなく
してやろうか？

止めて！

ヒッ
ゴゴゴ
ヒッ



妖怪って
人間の事判ってるようで
たまに全く判ってない
時あるわよね……

うーん……？
やっぱ人間の
感覚としてはダメ？

完全にアンタの
趣味でしょうが！
よくこの娘大人しく
付いてきたわね！

しょうがないじゃない
殴り合いされるより
平和でしょ？



いい？
そもそも……
こういう行為は……

そういう問題
じゃないわよ！

ヒッ
ヒッ
ヒッ



あら？
向こうは
やる気みたいよ？

おい！！

ちよ！
あんた
何やってんの！

このバカの
いうことなんか
無視して
いいんだってば！

さつきも言ったけど
「勝負なら断れないの
そういう種族なのよ

スッ



ねえ！
聞きなさいよ！

あ……

は話は聞いてて
分かりましたけど
心の準備が

うお！？

ギョッ

ヒョウッ

十二わ

がぁぁぁ



がぼっ

ちよ！？

ぼろん

あらあら
体は正直ねえ

ニヤニヤ



回の中暖けえ……
舌で裏筋刺激されて

っていやいや
そうじゃなくて!

ああもう
どうでもいいや
気持ちよすぎる!

ちゅぽ
ちゅぽ



あーらら
思ったより
積極的ねえ

おは、

ちなみに勝負方法は
射精させた量♪

先手が有利に
ならないように
彼の体も色々
弄ってるわ



うおっ…

うう…

吸われる…っ



な！何？

この攫ってきた男の子だけどさ

くすっ



あらあら…
いつまで我慢
できるかしら

ちゅ…



貴方もこういうコト興味あったんじゃない？

あー？
凶星？

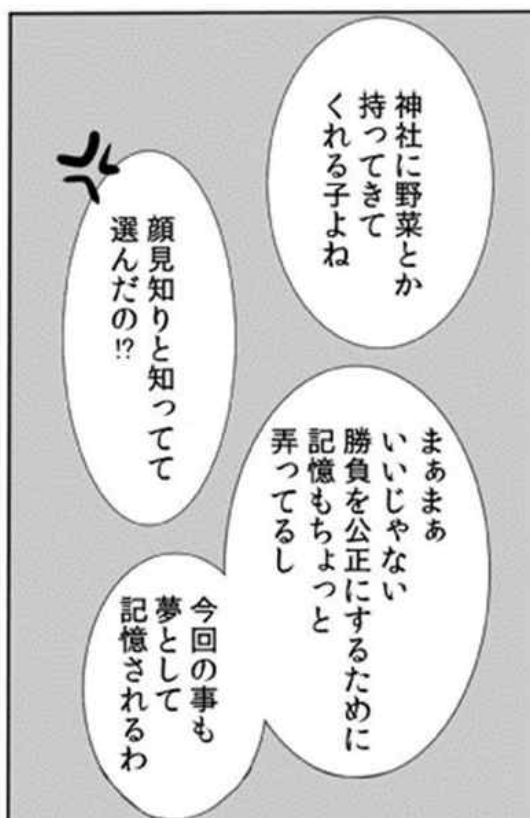


いつもお世話になつてるお返しできるじゃない

お返しつてあんたねえ…

それに

ふん！



神社に野菜とか持つてきてくれる子よね

顔見知りと知つてて選んだの！？

まあまあいいじゃない勝負を公正にするために記憶もちよつと弄つてるし

今回の事も夢として記憶されるわ



とろ...

ぱは

はー
はー

おおおおっ!

ぢゅぽ
ぢゅぽ

ぢゅぽ

うあっ!

ももう
無理ですっ!

続き!?

そう? 流石ね
このままあの娘に
続きしてもらおう?

にゃ
にゃ

そりや勿論
ねえ...
どうするう?

ピキ...

し舌で
滅茶苦茶に
されたみたいで!

え!?
いや! その
はいっ!

どう? 貴方
気持ちよかった?

けほ

ふふっ
まず一回目
沢山出たわね

はー

はあ

はあ...



あああああ！
もうっ！
わかったわよ！

そんな娘に負けるわけ
無いじゃない！
やってやるわよ！

ぐいっ

ががばっ

あらあら
ようやくやる気
になったかしら



ここは紫に
唆されたから
仕方なく…

仕方なく
なんだから…

あやあわわ
無理！
やっぱ無理い！

だって
でもわわわわ

わたし
わたし
何を今更
彼もその気に
なってきたのに
おい…

あああああ

いいから
早よ行け

わひゃ！

えつと私もこういうの初めてで……

胸がおかしいってよく茶化されてその……

そんな事無いっす！むしろ大きくて最高です！

どきどき

かああああ

や……やだ思ってた以上に恥ずかしい

そう……なの？

そそれじゃ触ってもいいですか？

ええ？
ええ
初めてだから

ぱんぱん

ゆっく

ひいあ！

ちよちよ
ちよつとお！

むぎゅ

ぎゅ

乳首もコリコリして

あ、
あひあ

ふにふに
ふかふかで

柔らかくて
素敵だと思います

あ、
あひあ

むぎゅ

にゅ

ここも
触っていいですよ？

えい！

おかしく
無いです！

ふえり！

ふに
ふに

ちよちよと！
さつきより積極的
なってる！！

あ、
あひあ

あ、
あひあ

ふえり！
ふえり！



ひいあ!

乳首も一緒に
頂きます!

やっ!
そんなに強く

ちやば
ちや

緊張が解れたって
事なのかな
大人しそうな人だと
思ってたのに……

はあ……はあ……
こんなに大きいなら

胸で挟んで
貰えますか?

はー

はー

ほえ?



これが……
男の人の……

こんなの
舐めたり挟んだり
するんだ……

でもあの娘に
負けるわけには……

初めてだから
上手くできるか
わからないけど



ひいあ!

お願いします!

ぽろん



私の体で
興奮してるんだ



重くない?
大丈夫?

大丈夫です!
もつと体重かけて
ください!

う……うん

固くて熱くて
ドキドキする

ぎゅむ



こう……かな?

うおつ……
あ……暖かくて
ドツシリとして

ん



あの娘の唾液と
精液と混じって
凄い匂い...

キドキ
胸だけじゃなく
舌も使って...



唾液で濡らして
もつと圧迫して

う...
ふおおおお!
胸の重さが伝わる!



もう限界です!
口に...出します!

勝負云々より
牝として...
疼かなかった?



気持ちいいです!
舌先が...うお!

あらあら
さつきよりも
積極的ね彼

どっつ...
見るだけでも
興奮しない?



ところで
さつきの行為の最中



ほうら
「気持ちよくさせる」より
「一緒に気持ちよくなる」
って考えなさい

もつともつと
欲しいって
感じるでしょ?

どうして
欲しいか体で
示してみなさいな



ふふ……
軽い暗示のつもりだったのに
意外と素直なのね

ほら君二人共
満足させてあげて

ほ本当に
いいんですか？

ドキ
ドキ
はあ

はあ

大丈夫
貴方を受け入れる
準備もできてるわ

体が熱くて熱くて……
牝としての本能が
蹂躪されたいって
全身が訴えてるの

ビク
ビク

ここで引くなんて
男の子として
ダメでしょう？

はあ

はあ

ドキ
ドキ

はあ



さあ
どっちの娘から？

そそそそ
それじゃ黒服の
無口な女の子から……

はあ

はあ

はい
いい返事ね♪

優しくして
あげなさいね

ちゅん
ちゅん

くちゅん
くちゅん

充分濡れてるわ
焦らないで
ゆっくり挿入して……

ちゅん
ちゅん

!?



ほらほら
もつと激しく
締め付けなきやね

あらあ
いい声ね

どう?
挿入された
感想は?

くっ...



……っ
 普段殆ど声なんて
 出さない奴なのに
 こんなに喘いで……



凄いで……
 熱くて最……高っ!

このまま
 膣内に……ッ!



純粹に気持ちよく
 なってるんだ……



私も……あの娘みたいに

あの……っ！

わ！
私も！



は……

見てるだけで
体が疼いて……
私……私……

は……



私も……
その……あの……

一生懸命気持ち良く
するから……

こんなに濡れてる……
恥ずかしいけど
我慢できない

それとも
私の体じゃ……
魅力……無いかな？

い言われなくても
我慢なんて
できませんっ！

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

ドキ
ドキ
あぁあぁ

くちゅ

くは。トロ……

ちゅぱ

あ

ぐっ



入っちゃつ……た……



無理！無理！
こんな……
ツ！？



中……こすれて
気持ちよくなって



無理っす！
このまま一気に
最後まで！

ゆっくり…
ひあっ！

あの…
もう少し…

むぎゅ

これ…ダメ…

気持ちよさに
溺れそう

ぬぷ

じゅぱい



奥…
突かれて…
意識…が…

ぐちゃ

はあ

ぐちゃ

はあ

じゅぱい

もう…
ダメ…
だ…

じゅぱい

ぐちゃ

ひん

あーん

はっ

あーん

あーん

ぎゅう



あー♡

はー♡

じゃが...

ん♡

トプ
トプ

あ...♡

あ...あの...

〜ごめんなさい！
ゆっくりって
言われたのに

いえ……
そうじゃなくて
……まだ……できます？

え？！

その後……
色々……順番に
してみたけど
ちよつと
頑張りすぎたのか

無……無理！
もう限界……です……

意……識……が……

そのまま気絶

勝負については
紫曰く
0.1ml差で
私の勝ちとの事
その……夢中に
なつてしまったので
すっかり忘れてた



これ以上させると
本当に死んでしまい
そうだったので
紫に相談すると

オッケー♪
じゃあ代理のを
もう2〜3体

とりあえず二人共
ぶん殴つて止めた

もぞもぞ



結局この娘もあっさり
負けを認めた

ただ勝負後も体の
火照りが
収まらなかつたらしく

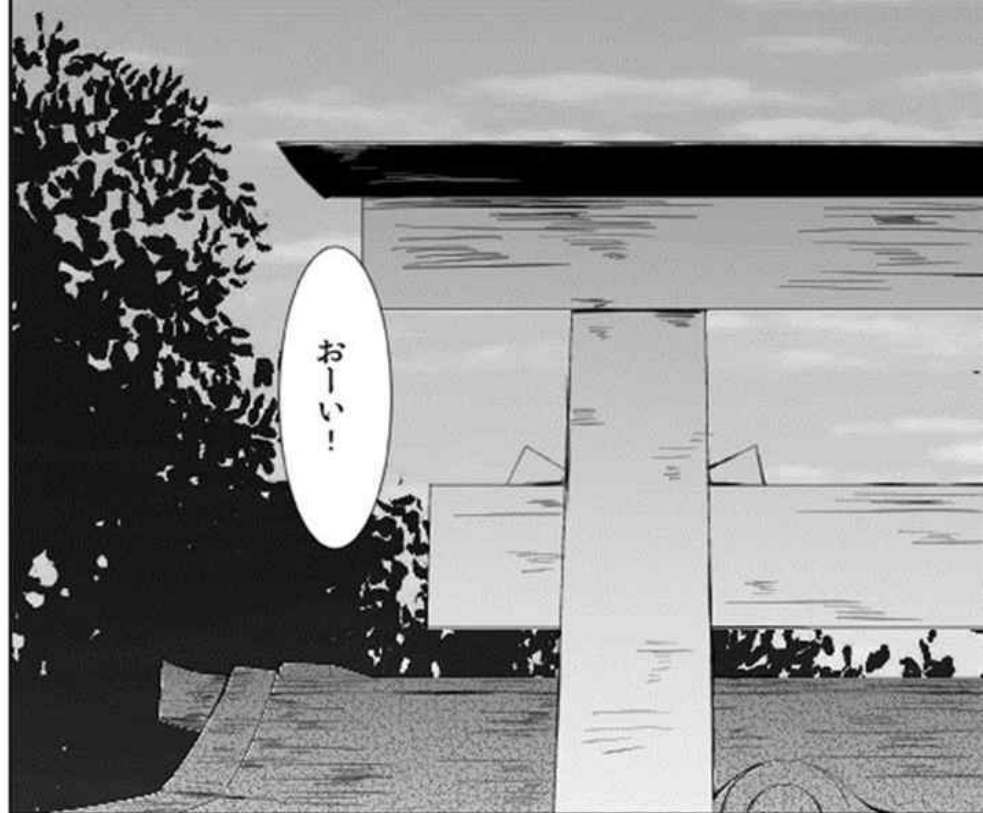
結局この一件以来
この娘が戦いを
挑んでくる事は無く

彼も記憶を弄られて
家に戻された

私も再び
博麗の巫女としての
いつもの生活に――



ああいたいた
もうすぐ夕飯できるわよ



おーい!



紫も色々頑張っているが
送還の目処は立っていない

幸い勝負事に負けたら
従うという別世界のルールに
影響されているらしく
今の所大人しいので
私は別に構わないが



相変わらず
喋らないわね……
まあ意思疎通できるから
いいけどさ

元の世界には
未だに戻せず
しばらくこちらで
預かることになった

門番でもさせたら?
と紫から言われたが
参拝客が減るだけなので
日常の雑務を手伝って
貰っている



正直に謝って……

あの男の子も
変わらず時々来てくれるが
あの夜の事は
話せないまま

あんな事に巻き込んで
正直に謝りたいんだけど



冷めないうちに
食べちゃいなさい

食べたなら食器は自分で
片付けること



今度は……
勝負とかじゃなくて……



あとがき

「喋らない」という
独自設定を付けて
しまったせいで
色々と困りました

無理に前に描いたのと
繋げずに普通の
遊廓モノとして
描いとけば良かったと
描き終わってから
気付く

遊廓モノだったら
他のmugenキャラで
パネルマジックネタを
オチにできたのに

※パネルマジック

えっちいお店で従業員の
写真を加工すること